

2022年2月14日

各位

上場会社名 ロイヤルホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 黒須 康宏
(コード番号 8179)
問合せ先責任者 財務企画部 I R担当部長 鈴木 唯士
(TEL 03-5707-8873)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2021年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当の内容について

(1) 普通株式

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月15日公表)	前期実績 (2020年12月期)
基準日	2021年12月31日	同左	2020年12月31日
1株当たり配当金	5円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	218百万円	—	—
効力発生日	2022年3月30日	—	—
配当原資	資本剰余金	—	—

(注) 純資産減少割合 0.008

(2) A種優先株式

	決定額	直近の配当予想 (2021年8月13日公表)	前期実績 (2020年12月期)
基準日	2021年12月31日	同左	—
1株当たり配当金	64,274円00銭	未定	—
配当金総額	192百万円	—	—
効力発生日	2022年3月30日	—	—
配当原資	資本剰余金	—	—

(注) 純資産減少割合 0.008

(3) B種優先株式

	決定額	直近の配当予想 (2021年8月13日公表)	前期実績 (2020年12月期)
基準日	2021年12月31日	同左	—
1株当たり配当金	34,027円40銭	未定	—
配当金総額	102百万円	—	—
効力発生日	2022年3月30日	—	—
配当原資	資本剰余金	—	—

(注) 純資産減少割合 0.008

2. 理由

当社は、内部留保資金を確保しつつも業績と連動した株主配当を継続的に実施し、株主の皆様への長期的かつ安定的な配当を株主還元の基本方針としてまいりました。しかしながら、前期は世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞等により多額の当期純損失を計上したため、剰余金の配当を見送らせていただきました。

2021年12月期の期末配当につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、当社業績および経営環境に回復の兆しがあることや、株主還元について早期にコロナ禍前の水準への回復を目指すとの新たな基本方針等を総合的に勘案の上、1株当たり5円（普通配当）とさせていただく予定です。また、A種優先株式ならびにB種優先株式につきましては、定款および発行要項の定めに従い、上記のとおり配当を予定しております。

なお、次期におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であることから、業績への影響を慎重に見極めつつ検討することとし、配当金の予想額は未定としております。

以上